



× **ともに生きる** 知子

横浜 F・マリノスが、「ともに生きる」を応援！

平成 28 年 7 月 26 日に津久井やまゆり園において、大変痛ましい事件が発生しました。このような事件が二度と繰り返されないよう、県は県議会とともに「ともに生きる社会かながわ憲章」を定め、ともに生きる社会の実現に向けて取り組んでいます。

このたび、「ともに生きる社会かながわ推進週間」(7 月 23 日～29 日)中に、憲章の趣旨に賛同する横浜 F・マリノスの協力を得て、憲章の普及活動を実施しますのでお知らせします。

1 日程

平成 30 年 7 月 28 日(土) 14:30～ ブース出展
(試合[横浜 F・マリノス VS 清水エスパルス]は、18:00 キックオフ)

2 場所

日産スタジアム(横浜国際総合競技場) コンコース等

3 内容

(1) スタジアム観客に「ともに生きる」を PR

当日開催される試合のハーフタイム中に知事、横浜 F・マリノス フトゥーロの選手、県職員が、「ともに生きる」の横断幕を掲げ、ピッチを周回して PR します。(※)

(2) 横浜 F・マリノスとコラボした「ともに生きる」SNS カードの配布

今回、横浜 F・マリノスとのコラボにより憲章の取組を発信する SNS アカウントを PR するオリジナルカードを作成しました。

7 月 28 日を皮切りに、県内各地で県が出展する憲章の PR ブース等で配布を行います。



(3) ブースでの普及活動

日産スタジアムのコンコースにて、憲章の普及活動を行います。横浜 F・マリノスとコラボしたオリジナルSNSパネルでの写真撮影や憲章のPRグッズの配布などを行います。



PR グッズ(うちわ)

(4) 取材申し込みについて

普及啓発の様子を取材する場合には、7月 25 日(水)までに下記問合せ先までご連絡ください。

(5) その他

当日は、知事がハーフタイム中の横断幕を掲げてのピッチ周回のほか、ブースを訪問する予定です。

※横浜 F・マリノスにおけるリーグ戦ホームゲーム入場者数
1試合平均 23,088 人(平成 24 年度データ)

※横浜 F・マリノスは、障がいのある方々が気軽にサッカーを楽しめる環境を目指し様々な活動に取り組んでいます。

2004 年に創設した Jリーグ初となる知的障がい者サッカーチーム「フトゥーロ(スペイン語で未来)」は、現在 88 名の選手が在籍し、様々な大会に出場しています。

また、電動車椅子サッカー大会の開催など、障がいのある方々がサッカーを通じて仲間とふれあい、そして楽しむことで社会との繋がりを実感すると共に、地域社会の障がい者スポーツに対する理解や関心が深まることを目指しています。

問合せ先

神奈川県福祉子どもみらい局福祉部共生社会推進課
課長 柏崎 電話 045-285-0771
共生グループ 平野 電話 045-210-4961

ともに生きる 